



あがの市議会だより

発行/阿賀野市議会

編集/議会改革推進特別委員会広報部会

議会事務局/岡山町10番15号

TEL/0250-62-2510 (代表)

FAX/0250-61-2067

HP/http://www.city.agano.niigata.jp/

E-mail/gikai@city.agano.niigata.jp

初の議会報告会を開催しました

阿賀野市議会として初めての議会報告会を、5月14日に市内4会場で開催しました。当日は、3月定例会の報告や議会基本条例の取り組み等について議員から説明・報告した後、参加者の意見交換を行いました。

議会報告会のQ&A

定例議会の日程と一般質問の内容を事前に知らせてほしい。

事前にお知らせできるようにします。(現在、定例議会の日程は議会だよりとHPで、一般質問の質問項目はHPで告知しています)

議会の傍聴者にも、議員に配布しているような資料を渡してほしい。

閲覧用として議案等資料を用意しています。通年議会とはどう違うものか。

先進例を調査して研究します。様々な意見を聞くために、参加者を増やす取り組みを。

報告会は定例会後に開催していきます。内容や周知方法も含めて市民の意見を聞きながら良くなるようにしていきます。

議会のインターネット中継システムはいつからやるのか。

現在業者と打合せ中です。9月議会に開始を予定しています。

議員定数特別委員会の公開は知らせなかったのか。

特別委員会の日程はお知らせする時間がない場合があります。今後はお知らせするようになりたいと考えています。

今回の開催について、曜日・時間等検討するのか。

今後検討します。

会派は政策で一致しているのか。

同一の理念、考え方で構成されています。今回の市長選で、政策的に相入れないはずの保守系議員、共産党議員が手を組んだことにより、今後の議会運営はどうなるのか。

選挙戦の流れで議会運営を行うことはありますか。

議員定数を削減したが、市民の声を吸い上げていけるのか。経費削減ばかりに目がいつているのではないか。

議員定数特別委員会において、様々な意見を交わしました。市民の声を聞く中で削減の声が多く、その意見を尊重した結果です。合併してからの議員の議会出欠状況及び一般質問の回数などを教えてほしい。

とっていません。今期の一般質問の回数については下記のとおりです。

(報告会での)資料がわかりづらい。わかりやすいものを配布してほしい。

ご意見を参考に、次回に生かします。

市民交流エリアの調査業務が否決されたが、事業自体は継続されていくのか。

議会としては継続しているという認識です。調査業務の予算については否決しました。

市民交流エリアのように、市長が代わるたびに方向性が二転三転しては困る。建設なのか、中止なのか、議会としてもはっきりと決断するべきではないか。

ご意見としてお預かりします。

議員定数について決定に至るまでの経緯を議会だよりに掲載してもらいたかった。

公募による市民5人から「意見聴取会」で考えを述べていただきました。議会だより第14号で報告しましたが、次号でわかりやすい内容での掲載を検討します。

議員の日常活動が見えないとの声が聞かれるか。今後具体的にどのようにしていくのか。

批判は受け止め改善していきます。インターネット中継や、委員会を傍聴していたことも求めていきます。

一般質問回数 (単位:人)

年	質問数	4回	3回	2回	1回	0回
平成23年	7	1	2	5	5	2
平成22年	6	4	4	2	2	2
平成21年	9	5	3	2	2	2
平成20年	8	4	4	3	2	2



報告会の様子



議会報告会のお知らせ

- ▼日 時=7月23日(月)午後7時~8時30分
- ▼会 場=安田公民館(2階 憩い室)・福社会館(1階 研修室)・京ヶ瀬公民館(2階 大会議室)・高齢者コミュニティセンターささかみ荘
- ▼内 容=・6月定例会の報告
・議員定数等

出前報告会はいかがですか

皆さんのもとへ出向き、議会報告会をいたします。自治会・団体・グループ等で気軽に申し込みください。

- ▼開催期間=7月24日(火)~27日(金)
- ▼時 間=午後7時から1時間半程度
- ▼会 場=原則、市内の公共施設・地区公会堂等
※開催を希望する団体で会場の確保をお願いします。使用料が必要な場合は、団体で負担してください。
- ▼内 容=上記と同じ
- ▼申込方法=申込書を議会事務局へ提出してください。ただし、先着順となりますので、希望に沿えないこともあります。お早めに申し込みください。申込書は議会事務局に用意してあるほか、ホームページからもダウンロードできます。

たくさんのご意見等、ありがとうございました。この議会報告会は、会場の準備・後片付け、受付、進行、記録など、すべて議員が行っています。今回いただいた意見や気づいた点、アンケート調査の結果等も踏まえて、次回に向けて改善してまいりますので、今後もより多くの皆様からご参加いただきますようお願いいたします。

その他

一般質問をしなくても市が発展するのであれば議員はいらないのでは。議員の数を減らし、調査費を増やし、一生懸命に勉強する議員で少数精鋭でやってほしい。地域審議会の回数を年4回に増やすよう議会からも要望してほしい。

執行部への質問事項

住宅リフォームの補助制度について、「下水道接続」という条件があるが、使いづらいので再考をお願いしたい。

(建設課) 浄化槽の維持管理及び耐用年数等の関係から、いずれ下水道に接続しなければならぬので、この機会に助成制度を利用していただきたいと思えます。

子ども医療費助成を中学3年までにしてほしい。

(福祉課) 9月に全子を対象に入院・通院とも「中学校卒業まで」拡充します。

国保の健診費用の負担が大きい。軽減を。(健康推進課) 他の保険者と比較しても高額な料金設定ではありません。

人間ドックの補助金について、支払い時に減額できないか。(健康推進課) 阿賀野市では、5力所の健

診機関と補助金差し引き後の人間ドック料金を窓口精算する契約を結んでいます。リフォームと下水道接続をセットでやる場合、特典が付けられないか。

(建設課) 工事費に対し2割、さらに限度額30万円は県内でも最高の補助金となっています。

新病院の設計業務が市のHPで3月28日付けで公募されていたが、なぜ前年度中に発注したのか。同時期に開院予定の魚沼基幹病院に医療資源が集約され医療体制確保に問題が生じるのでは。体制が整わなくても建設するのか。

(皆さんのご意見を参考に、医療体制の確保に取り組んでいきたい。)

(企画政策課) 設計業務の公募は、開院目標の平成26年度を考慮し、公募したものです。(平成23年12月議会で、債務負担行為議決) 新病院建設の理由は、現病院の老朽化、耐震性の問題等を解消する必要があることによるもので、魚沼基幹病院の開院に伴う影響については、現時点では、不確定な要素です。